

ヤマハニュース

YAMAHA NEWS NO.65

11



ヤマハトルール 250 DT1

カラーグラフ
新車特集

待望の
125
c.c.
A 7
発表
ヤマハスノーモビルのすべて



ビッグ・ツアーも ヤマハで快調!

明治一〇〇年のこと
 しは、各地で記念行事
 が行なわれているよう
 ですが、北海道も開道
 一〇〇年とあつて、こ
 の夏は例年にも増して
 観光客の訪れが多かつ
 たようです。中でも若
 い人がとくに多く、ヤ
 マハで北海道のツアー
 を楽しんでる姿があ
 ちこちで見られました。
 札幌で編集子と声を
 交わしたM2のオーナ
 ー、小野崎一夫さん(東
 京都江戸川区新田)も
 その一人。ソロで東京
 から飛ばし、たつたい
 ま北海道一周を終えて
 札幌まで戻ってきたと
 いうところ。途中、約
 七〇〇軒ちかくを二時
 間連続で走ったそうで
 すが、オートループで
 エンジン快調そのもの
 の、東京までのおよそ
 一〇〇〇軒も軽いもの
 とM2に劣らず元氣い
 っぱいでした。



東京都
 小野崎一夫さん

新発売ヤマハ125CC A7 発表

用途の広いタウンクルーザー



四年半売れつづけたロングセラー、ヤマハ125cc Y A 6が、装いをあらたに、ヤマハA7として発売されました。Y A 1にはじまるヤマハの125ccシリーズはヤマハオートバイの原形をなすものです。125ccシングル、バックホーインフレームと地味なレイアウトながら、その実力は目をみはらせるものがあります。

実用車としての抜群の力と使いよき、経済性もさることながら、Y A 6はレース面でも実にめざましい活躍をしてきました。モトクロス、ロードレースの両部門で、かずかずの優勝を飾ったことは、ヤマハニユースでも、そのつとぞ知らせましたが、このように性格の違った二つのレースのどちらでも勝るといふことで、このエンジンの素晴らしさがよくわかります。この名車ともいえるY A 6のエンジンをそのままに生かし、各所に使いやすさを増したのがこのヤマハ125cc A7です。



▲グンとスマートになった燃料タンク



■安全度が増しました

大型のテールランプ、ウインカーランプがとりつけられ、夜間走行の安全性が高くなりました。すでに定評のある防水防塵ブレーキはもちろんとりつけられています。

■始動が楽になりました

本格的なビジネス車として実用性の向上をはかり、セル・スターターが標準装備になっています。

■スマートになった外觀

燃料タンクが新しくデザインされ、グッとスマートになり、ニーグリップも新しい形で乗りやすさが向上しました。

タイヤはすべてホワイトリボンタイヤになって、デラックスな仕様が標準装備となっています。

■強力なエンジン

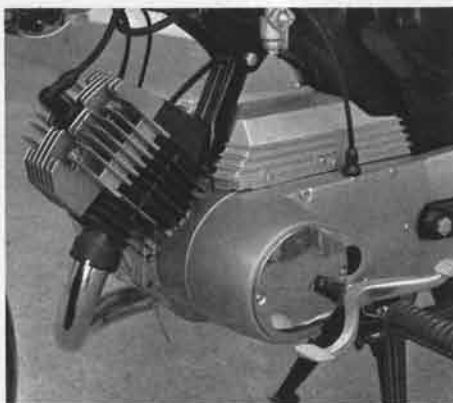
世界ではじめてロータリーバルブをつけた市販オートバイがこのシリーズのY A 5。それにY A 6で加ったオートルーフで、ねばり強く、タフなエンジンとおどろかれています。横長のフィンをつけたエアクリナーカバーも美しくデザインされました。

■価格はすえ置き、

事実上の値下げ

これまでデラックス仕様となっていたものが標準仕様となり、セル・スターター付で、価格は十三万五千円とY A 6と変わりません。これは事実上の値下げです。

さらに充実したビジネスシリーズ。余裕のある性能で働くヤマハをおすすめください。



▲冷却効果万全の十字フィン。エアクリナーケースにもスマートなフィンがついた。



▲オートループ用オイルタンクもぐんと大型。



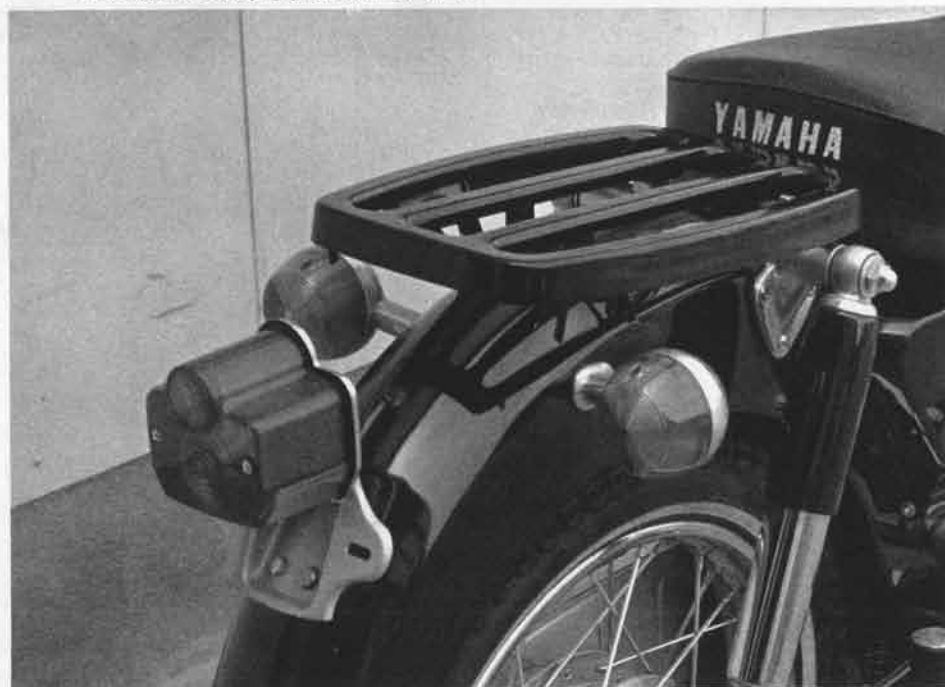
▲使いやすい大型ツールボックス。



▲走行中も見やすい大型メーター。



▲▼大型になって安全性を増したライト類



▲ブレーキはヤマハ特許の防水防塵式。

■性能	最高速度	110km/h
	登坂能力	20°
	最小回転半径	1,980mm
■エンジン	最小制動距離	7.5m @ 35km/h
	型式	2サイクル ローターバルブ・単気筒
	潤滑型式	オートループ
	ボア×ストローク	56×50mm
	総排気量	123cc
	圧縮比	6.8:1
	最高出力	11PS @ 6700rpm
■各部寸法	最大トルク	1.25kg-m @ 5000rpm
	変速機	4段ロータリー
	始動	セル・キック
	全長	1,880mm
	全巾	745mm
	全高	1,045mm
	軸距	1,240mm
最低地上高	135mm	
重量	110kg	
燃料タンク容量	9.0ℓ	
オイルタンク容量	1.7ℓ	
タイヤサイズ	前3.00-16-4PR 後3.00-16-4PR	



ヤマハスポーツ

脚光浴びる 新しいスポーツ トレール・ライティング

新しいスポーツ「トレール・ライティング」が、怒濤のいきおいで世界のモーターサイクル・ファンの中にひろがっています。
ヤマハトレールで荒地地を走るノとぶノ河を渡るノ丘を駆け登りそしてくだるノあるいはアスファルトの道をカッコよく走るノそれがトレール・ライティングです。
ここベネズエラでも、好評のヤマハトレール250DTEIを駆って、椰子の林の中を、岩だらけの高原を、いたるところで爽快なトレール・ライティングを楽しむお客さんが見受けられます。



こうして販促に成功した

オートループ車が80%の

福島県いわき市下永井



ヤマハを売る店が繁栄しています。ヤマハは伸び盛りの車、商売になる車だからです。

占拠率急上昇!



▲どこへ行くにもヤマハは必需品。藁谷正男さんはヤマハのサービスカーに道をあけてくれた。

ヤマハオートバイの市場占拠率は各地で急上昇。ヤマハを売る店に繁栄をもたらせています。

ここに紹介する福島県いわき市の山村、三和町下永井は、新車の八〇%までがヤマハだといわれています。一台のオートループ車がきっかけで、急速にヤマハが伸びたヒミツはなにか? どうして、このように市場占拠率を上げることができたか? ひとつの具体例として、とり上げてみました。



地理的条件を適格に把握

なぜ、占拠率が急上昇したか

昨年春、いわき市に合併した下永井は、常盤線平駅の西方約三十キロ。阿武隈山地の中央部にあります。炭、タバコ、米などが、おもな生産物です。

ここにはオートバイ販売店は一店もありません。しかし、交通がきわめて不便な山村である

人情のきずなを重視した

なぜ、占拠率が急上昇したか

もつとも、下永井の人たちと平自動車工業との結びつきは一朝一夕に成ったものではありません。同社の経営者、出羽時男さんが、かつて炭の卸商をしていたころから、下永井の人びとと取引はあったのです。

しかし、そのきずなをさらに太く、さらに強くするための努力を、その後も惜しまなかつたことが、同社の販売基盤をいっそう強いものにしました。

下永井のお客さんが山をおりて、市の中央へ出てくると、かならずといってよいぐらいい、同社に顔を出し、四方山話に興じて帰っていきます。

いっぽう、セールスマンの松本武義さんが週に二回ほど、下永井を訪問すると「うちで食事をしたい」「うちにも寄ってくれ」といたるところで歓迎せめに会います。

御塚祭典のシン舞はこの土地に250年以上もつづいている行事だ。



▲「買い物に行くにも片道4キロ。ヤマハがなくては暮せないね」と語る波多野正保さん。



▲「セールスの話をしなくとも、お客さんがお客さんを紹介してくれるんです」 藁谷重則さんのお宅をたずねた松本セールスマン。

過当競争のウズをさけた

村人の人情にとけ込んだセールス活動の成果です。
しかし、今日ここに至るまでには、いろいろな波乱もありました。
なぜ、占拠率が急上昇したか
地味な努力が次第に実を結んで、ヤマハの占拠率が三〇%ほどに上昇したころ、出るク

ギは打たれるの例えのとおり、他社から猛烈な捲返しを受けたのです。
需要が増大する一方の下永井のお客さんをめぐって、過当競争のウズがまき起りました。ビツクリするような価格で中古車の下取りが行なわれ、値引きが横行しました。
しかし、ヤマハは、この混乱にまきこまれまいと、あくまでも従来のベースを守りつづけることに努力を傾注しました。
「どうして、値引きをしないのだよそではもつと高く下取り車をとつてくれるじやないか！」
セールスマンは、こういうお客さんを説得するために、夜の十二時、一時ごろまで、奔走しました。
さいわい、こうした苦難の時期も長くはつづきませんでした。
無理な値引きを行なった店は、当然、アフターサービスに支障をきたします。山奥までサービスに回られるだけの利潤を確保していないので、どうしても売りつばなしになり、お客さんからの苦情を招く結果になりました。それに引きかえ、自己のベースを守ったものは、一時的には販売が減少しても、つねに変わらぬサービスを実施できます。年末にはカレンダーぐらい配れるだけのゆとりもありました。
一時の混乱が過ぎると、一度は離れたお客さんも、再びもどつてくるようになりました。

オートループの理解者を得る

もし、あのとき、過当な販売競争にまき込まれるようなことがあったら、下永井において今日のヤマハの進出はなかったでしょう。
なぜ、占拠率が急上昇したか
ここでも、ヤマハオートループの登場が、ヤマハの躍進のひとつの契機になりました。混合燃料の時代は、オイルのよしあしが、車の性能や耐久性に大きく影響したものでしたが、オートループの出現で、こうした悩みも解消したのであります。
とはいえ、最初のうちは、オートループのよさを周知させることは容易ではありませんでしたが、オートループのよき理解者が現われるにつれて、ヤマハオートループの評判がグンと高まりました。
根本昭さんも最初からオートループに強い関心を持った一人です。
機械に興味を持つ根本さんが、ヤマハオートループを採用した125YA6を購入したことは、ヤマハにとって幸いでした。
「この辺は山間部だから、エンジンがよくて、しかも安上がりな車だ。ねえとダメだ。金がかかかんねえ車なんだから、だれにでもすめてやるよ」根本さんは、混合燃料を使わないオートループの利点を、ことごとくに人びとに説いてまわったのです。
「この上(かみ)には家が十三軒あって、そのうちの十一軒がヤマハを使つてね。いまじや、オートループでなけりや単車じやねえようなこといつてる」と、根本さんは述懐します。

もちろん積極セールスの成果

なぜ、占拠率が急上昇したか
平自動車工業と、そのセールスマンの積極的で誠意ある活動ぶりが、下永井のお客さんの心をとらえていきました。
セールスマンの松本さんは「最初は夜でないと、ご主人が留守の家が多いので、暗い山道を走り回わり、苦勞しました。近ごろはこの畑へ行けば、だれに会えるということがわかってるので、苦勞はしません」と語っています。
それにしても、週に二回も、オートバイ販売店のないこの山村に、顧客を訪問する熱意



▶家族ぐるみヤマハを応援する根本昭さん一家と、松本セールスマン（左から3人目）宗像重喜さん（右から3人目）

▶ヤマハカラーが紅葉に映えて、今日もセールスマンの車がゆく。



は、平凡なものではありません。

下永井の主要産物である炭、タバコ、米などの代金は、秋から冬にかけて、お客さんのふところへ入ってきます。

だから、オートバイが売れるのも、ほとんど冬場だけに限られる。しかし、セールスマンは、夏の間も同じように、定期の訪問を欠かしません。売れる時期にしか訪問しない販売店は、販売戦線からの脱落を余儀なくされるからです。

なぜ、占拠率が急上昇したか

セールスマンは三級整備士

セールスマンがすべてサービスのベテランであり、整備士の資格を有していることも、会社の良心のあらわれであり、お客さんの信頼をかち得る原因になっているようです。おかげで、オートロープをはじめヤマハの

技術をお客さんに正しくPRすることができたのです。

第一、交通の不便な山間部にあつて、セールスマンが車の具合を見られないというのでは、お客さんも不便だし、べつにサービスマンを派遣したのでは、人件費もかさみます。

なぜ、占拠率が急上昇したか

なによりもすぐれた商品

セールスマンがいくら努力しても、商品がよくなければ、これだけ売行きが伸びるわけがありません。

「ならば、セールスの腕がいいからつて、わるい車じゃ売れねえよ。ヤマハが山にも適した車だから売れるんだ」と、人びとはいいます。

「そう。いくら器量のよい娘もつてても、出来が悪くちゃ、嫁のもらい手がない。それと同じことだよ」と、村のおばあちゃんも合いつちを打ちます。

なぜ、占拠率が急上昇したか

お客さんの協力で売る

一度、ヤマハに乗ったお客さんたちが、協力してヤマハをふやしてくれたこともヤマハが躍進する大きな原動力になりました。公民館に若い人たちが集まった折りなど、これらの人びとは好意的にヤマハを宣伝してくれました。

いつのまにか、マーケティング的な人もふえ、車を買ひ替えそうなお客さんの情報を教えてくれたり、みずから、近所の人や親戚の人にヤマハをすすめてくれたりしています。

家族ぐるみヤマハ党の根本昭さんや、いつも余分な中古車を一台、手元に置いて、車が必要な人に乗ってみてもらおう波多野正保さんのような人たちがそれです。

「ほかの会社のセールスマンに、この土地に車を入れられちゃうと、情けなくてねえ」おばあちゃんまでが、松本セールスマンを応援するほど、心がピッタリ合っています。

なぜ、占拠率が急上昇したか

トレール車でさらに拍車

「昔は、オートバイの音で、だれが来たのかわかったものだが、いまはみんなヤマハの音なので、だれだかわからなくなった」と、人びとがこぼすほど、ヤマハの普及はめざましいものがあります。さらにヤマハトレールという強力な新商品の登場が、ヤマハの将来をいつそう明るいものにしていきます。

若い人たちが山腹でモトクロスまでの走りっこをしたところ、ヤマハトレールの性能が抜群。たちまち、あこがれの的になりました。「ヤマハトレールは最低地上高が高いし、相当な凸凹道でもどんどん登っていくのは気が持たない。山道にピッタリの車だね。うちの長男も100L2-Cに乗ってるが、加速がきくのがうれしらしい。燃料も喰わないしね。若いものは、これからはああいふ車に乗るようになる」と、根本昭さんも折り紙をつけています。

最近では、ヤマハから他の車に乗りかえる人はゼロ。平自動車工業の出羽社長は「こんなことは決してあり得ないが、わたしのほうでお客さんに背信行為をしないかぎり、あるいはヤマハの車が極端にわるくならない限り、ヤマハはさらに伸びるでしょう」と、力強く語るのです。

山岳地帯に活躍するヤマハトレール



十和田湖の西南にある大館市は、秋田県で二番目に大きな都市です。秋田杉の生い茂る林山や、銅や鉛などを産出する鉱山が、市の中心部をとりまくようにして連なっています。

これらの山で働く人たちの間に、ヤマハトレールがめざましいいきおいで伸びています。

うっそうたる国有林で本場の秋田杉を伐り出す男たち、黒鉱が層をなす坑内で採鉱作業に汗を流す男たちが、きそつて、通勤用にヤマハトレールを使いはじめたからです。

大館周辺の山山をヤマハトレール一色に塗りつぶそうと張切っている市内のヤマハ販売店、サイクル・サガワの経営者、佐川正太郎さん（33才）は「トレールという、レジャー専用車だと思いが、このとおり、山道での実用にもすばらしい威力を発揮する」ということを、もつと認識してもらいたいですね」と語っています。

東北では、若い労働人口の流出が問題になっていますがここでは地下資源の開発や林業の活況から、ぎやくに人口がふえているといった恵まれた環境があり、ヤマハトレールの普及がいっそう期待されます。



ちと交代で、巡回する。

山道にも強いヤマハトレールは50F5-C=6万3千円。90H3-C=7万7千円。



▲秋田杉の本場・長木沢国有林に働く斎藤勇次郎さん(右)は、この沢にはじめてヤマハトレール100L2-Cを持ちこんだ人だ。



▲集材機をあやつって、ロープづたいに山から谷へ木材を動かす斎藤さんを、愛用のヤマハトレールが見守る。



▲東亜鉱業で黒鉱の採掘に従事する大森仁さんは、鉱山までの道のりをヤマハトレール250DT1で通勤。「レースにも出たい」



▲大館盆地にヤマハトレールを伸ばすサイクル・サガワと、経営者の佐川さん(左)



▲佐川さんは、従業員の人のアフターサービスに山奥を



カラーグラフ

ヤマハスノーモビル のすべて—開発から発売まで

いちめん銀世界の雪原をあざやかなシュプールを残して走りさるものはスキーしかなかった日本に、この冬からヤマハスノーモビルがダイナミックな楽しさを加えます。スピードと運動性がまったく新しい交通機関を生み出しました。もちろん、レジャーだけでなく、実用面でも、積雪地の冬期交通機関として大きな意味をもっています。雪に埋もれた部落の急病人へ急ぐ医師、高圧線を見まわる監視員、雪国へ年賀状をはこぶ郵便配達員などの大きな足となることでしょう。このように新しい雪のスポーツ、交通機関として大いに活躍を期待されているスノーモビルの開発、研究から発表までのいろいろをご紹介します。



S-350



←スノーモビルのできるまで



まずボディをさがさまにして、ゴムのキャタピラがつけられ、果まわりが完成されていく



積みあげられた無限軌道、新雪でも横滑りでもしっかりとつかまえて走るスノーモビルの足



あざやかなブルーに塗りあげられたボディは自動的に製鐵所からコンベアで外に出される



ボディの熔接、強じんをヤマハオートバイのフレームをつくる熔接技術が生かされる



SDのダブルトラック



SD-350

オプション・パーツ
除雪地用タイヤ



貨物用ソリ

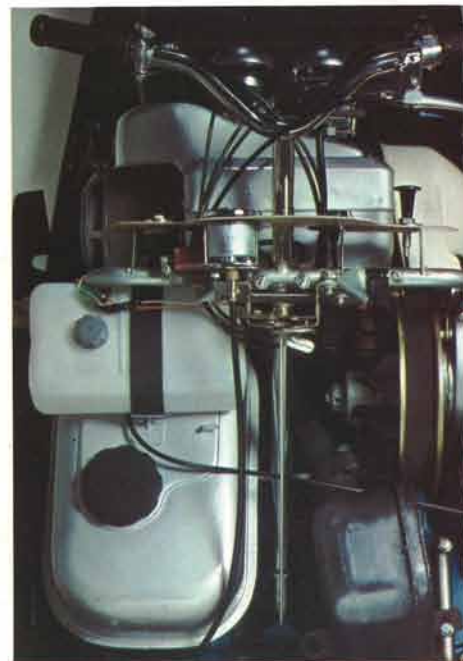


ボディカバー



附属備品

始動ロープ 工具 ドライブベルト
トレンチスコップ オイル1
& 燃料タンク プラグなど走行
条件を考慮して万全の備品がつけ
られている



エンジン部



ラインオフした製品はひとつひとつエンジンテスト、350ccエンジンが産声をあげるときだ



ハンドルもつけられ、あとエンジンシフトを付けるばかりになったライン上の製品



2気筒、2キャブ、ファイブポート、オートロープ付22馬力エンジンがとりつけられる



キャブと雪がつけられたボディは、クルリとひっくりかえされ、上部機構のとりつけへ



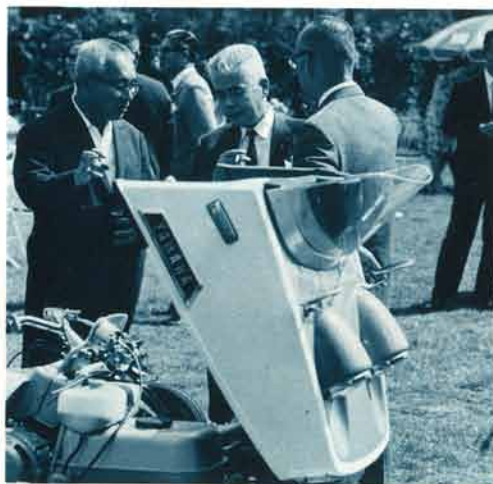
発売まで一年間徹底的な
テストが行なわれました。

- ↘時速60キロジャンプ。ボディの強さは無類
- ↘急坂を全速で駆けあがるダイナミックな試走
- 夏の間は遠く南半球でテストが続けられた
- ↓救急用にはすでに使われ、その威力を発揮



そして9月6日 東京高輪プリンス
ホテルで発表会が
おこなわれ政界、をはじめ各方面の参会者が、この新
しい雪上の交通機関の誕生を祝いました。

除雪した道路でも走れる車輪をつけてデモンストレーション



西村農林大臣も出席、川上社長が説明にあたりました





ライマン首相からローレルを受ける本橋選手

マレイシアGPにヤマハ圧勝

クアラルンプール・バツ・チガトラック

九月八日、マレイシアの首都、クアラルンプールのバツ・チガトラックでおこなわれたマレイシアGPに、ヤマハチームの長谷川、本橋両選手が参加、七十五周二百五十二・八キロのレースに本橋選手が優勝、ロスマン杯と賞金二千ドルを獲得した。

長谷川選手は、二十九周目で惜しくもリタイアし、現地で人気のある選手だけにあくる日の新聞は「長谷川無念」の見出しが大きく出ていた。



高橋商店長岡店の新社屋落成

新潟県ヤマハ特約店（株）高橋商店長岡店（長岡市本町二丁目）の新社屋が完成、九月三日に関係者を集めて、落成披露が行なわれました。

新社屋は鉄筋三階建て。延べ三百六十坪で、その両側にはヤマハの広告塔が突き出しています。

一階はショールームと事務所、二階は会議室とモーター関係の部品課、三階は自転車関係の部品課となっています。

なお同社では今年の四月、長岡市下条に鉄筋一階、二百坪の車両倉庫を完成しています。

トビックス

スノーモビル発表会 盛大に開かる

九月九日、東京高輪プリンスホテルでおこなわれたスノーモビル発表会は、西村農林大臣も出席するなど、政府はじめ各方面の関心の高さと比類した盛大さで開かれました。
広い芝生の会場では特需関係者の熱心な質問に答える係員も真剣なおももち、一種の熱気がただよう雰囲気です。ヤマハスノーモビルの将来に明るさを感じられました。
(右下写真)西村農相(中央)に説明する本社川上社長(左)



山形県農業祭で スノーモビル 好評

東北でもっとも雪が深いといわれる山形県で毎年行なわれる農業まつりに、ヤマハスノーモビルが展示され好評を博しました。
一年のうち半分は雪にうまる地方だけに、スノーモビルへの関心はひじょうに高く、専門的な質問も出て係員もたじたじ。この冬は山形の粉雪の上をヤマハカラーのスノーモビルが走りまわることでしょう。

東京支店シヨールーム に雪山出現!

ヤマハファンのお入りがたえない、ヤマハ東京支店のシヨールームに、一夜で雪山が出現、五台のスノーモビルが道行く人の注目をあびています。
ポリスチロール製の雪に、赤青白のヤマハカラーも鮮かなスノーモビルがはえて、なかなかの景観です。





カーブミラーと 防犯灯を市に寄贈

加西ヤマハ店

兵庫県加西市のヤマハ販売店三十一店で組織されている加西ヤマハ会（山本武雄会長）では、会の積立金十五万円を有効に生かそうと話合った結果、市の交通安全協会にカーブミラー五基と防犯灯多数を寄贈しました。

山道の多い土地柄だけに、これら心のこもった贈り物は、予想以上に交通の安全と防犯に役立っています。



小笠原で活躍 ヤマハボート

帰って来た南の島小笠原の海で、早くもヤマハボートと船外機が活躍している。

海洋資源を調査するためのボートとして、ヤマハフィットシャーマン14とヤマハ船外機P125Aで、紺べきの南の海に、その白い船体をうつつして走りまわっている。

（写真は日本経済新聞提供）

ピタピタ MONTHLY FOR MEN

青年よ大誌を抱け!

現代に飛躍する ヤマハファン にピッタリの青年のコミック誌! つねにコミック界の先頭をつっぱり SFエロチカなど多彩な内容です。

毎月29日ごろ発売

小学館



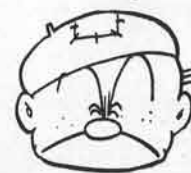
白土三平



手塚治虫



さいとう・たかを

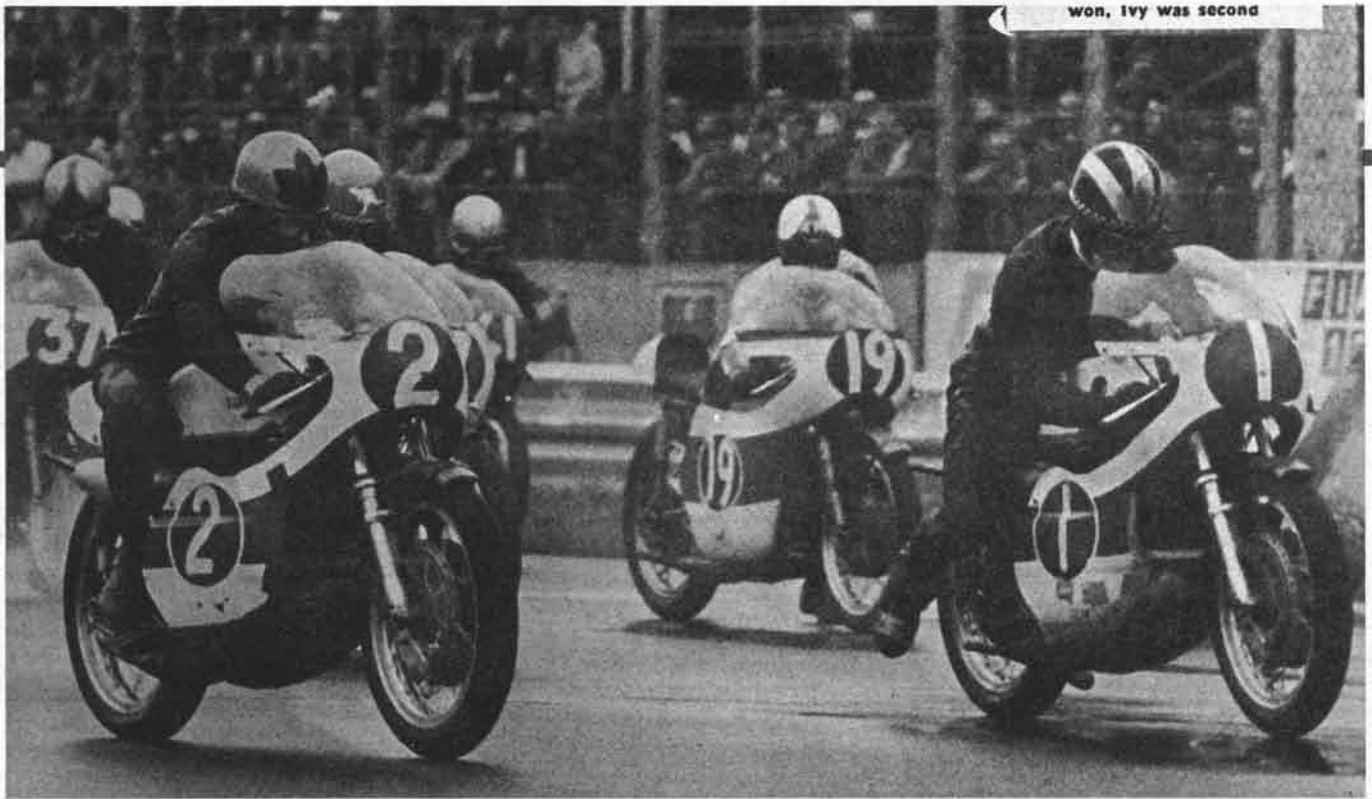


石森章太郎



水木しげる

5大作家の大競作



P・リード2クラス制覇

—'68世界選手権ロードレース—

七月二十一日のチェコGPで、すでに二五〇ccクラスのライダーチャンピオンシップを手中にしたヤマハのP・リードは、続くフィンランド、アルスター、イタリーの三GPに二五〇ccクラスのタイトルを賭けて、チームメイトのB・アイビーと決戦を展開した。

フィンランドはリード、アルスターはアイビーと両者星を分け合った後、九月十五日のモンツァで行なわれたイタリーGPで遂にリードはアイビーをおさえて優勝、両選手は総合得点(有効六レース)で全くのタイになった。

しかし、FIM競技規定により両選手の完走全レースの所要時間の合計の比較で、リードが僅かながら優っているため彼が'68年度二五〇cc級ライダーチャンピオンに決定、レース歴初のダブルタイトル獲得が実現した。

両エースの決勝戦になったイタリーGP二五〇ccクラスは、前夜から降り続く雨をついて行われたが、プラクティスで不調であったリードは本番では調子を取戻し、スタートからレースをリード、アイビーに一分半以上の差をつけて快勝し、ここの一番の勝負強さを示した。

なお二五〇ccクラスもフィンランドではリード、アルスター、イタリーではアイビーがそれぞれウイナーになり、ヤマハチームは依然として無敵であった。



●フィンランドGP (8月4日) イマトラ

125cc級 20周 120.60km
1. P. リード (ヤマハ) 52' 40" 2 137.38km/h
2. B. アイビー (ヤマハ) 53' 24" 2 135.49km/h
3. H. ロースナー (MZ) 一周遅れ
4. F. コーラル (MZ) *
5. J. レンク (MZ) *
6. T. ホイシュケル (MZ) *
最高ラップ B. アイビー 2' 34" 6 140.40km/h
250cc級 23周 138.69km
1. P. リード (ヤマハ) 64' 55" 3 128.20km/h
2. H. ロースナー (MZ) 66' 57" 3 124.30km/h
3. R. ゴールド (ヤマハ) 一周遅れ
4. G. モロイ (フルタコ) *
5. L. スザーボ (MZ) *
6. G. アルソフスキー (フルタコ) *
最高ラップ P. リード 2' 39" 7 135.19km/h

●アルスターGP (8月17日) ダンドロッド

125cc級 11周 131.93km
1. B. アイビー (ヤマハ) 49' 00" 6 160.34km/h
2. P. リード (ヤマハ) 49' 03" 4 160.16km/h
3. H. ロースナー (MZ) 一周遅れ
4. O. モロイ (フルタコ) *
5. D. ブラウン (MZ) *
6. K. キャラザース (ホンダ) *
最高ラップ P. リード 4' 20" 0 164.83km/h
250cc級 15周 180.21km
1. B. アイビー (ヤマハ) 68' 18" 8 156.88km/h
2. H. ロースナー (MZ) 70' 40" 0 151.97km/h
3. R. ゴールド (ヤマハ/フルタコ) 71' 08" 0 150.06km/h
4. G. モロイ (フルタコ) 一周遅れ
5. M. アップヒル (スズキ) *
6. K. アンデルソン (ヤマハ) *
最高ラップ B. アイビー 4' 17" 4 166.75km/h

●イタリーGP (9月15日) モンツァ

125cc級 18周 103.6km
1. B. アイビー (ヤマハ) 36' 23" 3 170.336km/h
2. P. リード (ヤマハ) 42' 41" 8 144.674km/h
3. H. G. アンシャイト (スズキ) 一周遅れ
4. D. シモンズ (カワサキ) *
5. L. スザーボ (MZ) *
6. D. ブラウン (MZ) *
最高ラップ B. アイビー 1' 58" 2 174.21km/h
250cc級 22周 126.50km
1. P. リード (ヤマハ) 42' 35" 4 177.168km/h
2. B. アイビー (ヤマハ) 44' 26" 4 169.808km/h
3. S. ハーレロ (オッサ) 一周遅れ
4. G. ケイス (ヤマハ) *
5. J. ファインドレー (ヤマハ) 2周遅れ
6. R. ブッチャー (スズキ) *
最高ラップ P. リード 1' 53" 6 181.254km/h

◀通勤通学の時刻ともなれば、市内は女性のヤマハメイトでラッシュになる。



女性に売ればメイトが 倍増

こんにちはヤマハです

兵庫県加西市 加西ヤマハ会のみなさん

ご出席のみなさん

(敬称略・アイウエオ順)

有田勇雄(有田自転車店)

衣笠康夫(衣笠自転車店)

為平宅視(為平自転車店)

橋爪幹夫(橋爪自転車店)

増田正行(増田自転車店)

山本武雄(泉モータース)

「女性がオートバイに乗ってくれば、売上げは倍増」販売店さんのだれもが考えることですが、実際に、その夢がかなえられた地方もあります。

兵庫県加西市では、ヤマハメイトのお客さんの六〇%以上が女性ユーザーで占められています。若い女性はもちろん、六十才のおばさんまでが、はき物がわりにヤマハメイトを使っているのです。

そこで、女性の間ヤマハメイトを普及させ、売上げ倍増に成功している加西ヤマハ会の役員のかたがたから、お話をうかがってみました。

過当競争なくし、儲かるヤマハに

為広 この加西市というところは、姫路から北東へ二十キロ。バスで一時間もかかるところです。

衣笠 昔は丹波街道の要衝で、古くから商人の町として栄えていました。

有田 昔は姫路より大きかったのだが、衣笠 三洋電機の発祥の地です。もとは、ここに本社があった。

有田 最初は百人ほどの工具ではじまったんですわ。

山本 まあ、山の中の盆地のようなものです。それだけに、われわれ業者のまとももいい。加西というところは、地域的には広いが、自転車販売している時代から、県下で



一タース西脇営業所の中村所長。



有田さん

もまれにみるほど、業者がまとまっていまいた。そのうちの一種のグループが十人ほどで「ヤマハを売ろうじゃないか」ということでスタートしたんですが、いまは加西ヤマハ会のメンバーは三十一店になりました。

一人で売るのは発展にも限度があるので、いかにして売るかを、いろいろと話合って、やってきています。とにかく一人ではダメ。みんなが売ろうという気分があるかどうか、ヤマハが伸びるための条件でした。売り出しのたびごとに、みんながビックリするぐらい売上げ台数がふえてきました。ここでは、大きく売るのが、数少なく売るものをひっぱって、どんどん売ろうという仕組みでやってきました。そのうち、わしも売ってやろうという具合で、上下の差が接近

してきた。よけい売るのが、少い人を助けて、だれでもよく売るようにしてきた。これがヤマハが伸びた原因です。

衣笠 なんといっても、適正利潤を確保したのが、第一の伸びの理由でした。儲からねば、だれも売らん。儲ける商品に仕立てたのが成功のもとでした。

山本 グループをこしらえて、過当競争をおさえる。チームワークを第一条件にして、仲よくやってきた。

衣笠 他銘柄を売るより、ヤマハを売るほうが安定性がある。

橋爪 価格的にも性能的にもね。

為広 これも、会の結束がよかったから出来たことだ。

衣笠 値切るお客さんがあれば、「どこの店にでも行ってみる」という。ヤマハなら、どこへ行っても同じ値段だ。

結局、ヤマハに惚れて売ってきて、ヤマハがこれだけ出たからいいんやね。一流商品として認識してもらえようになって、商売がしやすくなったといえるな。

アツというまに占拠率が向上

山本 いろいろとキャンペーンをやったのもよかった。考えてみると、ディーラーさんもセンスがあるし、熱心だ。どんどん回わって



山本さん

きてくれる。

オートループキャンペーン、そして、先日やった定期点検、非常に効果があった。まず、ヤマハなら安心だという気持を素人の人にも持ってもらえた。

為広 わしの見たてだと、いま、ヤマハの市場占拠率は七〇%ぐらいかな。

増田 うちのほうもそんなところだ。

橋爪 うちの地区はヤマハが八〇%出ている。

山本 平均六〇%ぐらいと思ってたら…。

衣笠 最近では七〇%
山本 三年前は、年間に五台か十台しか売れなかったのに…。

有田 ヤマハにせい、とお客さんにすすめるのに往生した。

山本 現在、ヤマハにしなさいというのと、苦勞なく買ってくれる。

増田 ヤマハメイトが出、オートループがついたこと、それが女性に売りつけるネタに



増田さん

なった。ディーラーさんがよくやってくれるし業者も提携して、利益を確保するよう努めてきました。ヤマハ会の会員がふえても、お互いに親睦を図ってやってきた。乱売や、ヘンな商売をする連中がいると、役員が説得に行った。

しかも、業者がお客さんに積極的にヤマハをすすめる、学校の先生、あるいは洋裁場へと一台、また一台、とふやしていったわけです。

四月の二日、三日と、自転車軽自動車協会の主催で、自動車とオートバイのショーを開いたんですが、ヤマハはその会場で無料点検サービスを実施した。これなどは人目を引いたね。

山本 効果があつたと思うね。

増田 とにかくヤマハの場合は、みんなが協力した立場で、積極的にやることが強みだ。

メイトのお客は六、七割が女性

為広 加西ではオートバイの普及率がよく一軒に二台や三台というのはザラにあるね。

橋爪 平均二台というところだろうか。

衣笠 北条町だけを見ると、一軒に一台もいってないが…。

山本 うちのお客さんでは最高五台というのがある。家内中で乗っているんだ。

為広 最近では四十才、四十五才という女子の人が乗っている。



▲右から増田・有田・為広・山本・衣笠・橋爪の諸氏と、丸八モ

女の人に売らにや。
橋爪 故障がないことも、メイトが伸びた
大きな理由だね。

運転のコーチは販売店の役員

衣笠 だいたい、おなごの子に乗せること
免許証をとらすことが第一だ。

山本 乗りやすいことが第一条件だな。女
性の通勤者を多く乗せ、占拠率をふやしたこ
とが条一の原因だ。一人が買おうと、となりも
買おうということになる。



衣笠さん

衣笠 あの人が乗るから、わたしも乗ろう
と、女の子は思う。男は、あれらが乗るのな
ら、他のに乗ろうと考えるところだが。
為広 よそが買うなら、うちも買うとい
うのが女性の気持だ。

山本 ピンクのヤマハが出てきて、最初に
買ってもらったのは、はじめて免許をとった
十七、八才の娘さんだった。本人もおやじさ
んもひらけていて、気に入ったようだったが
グルリの人たちが、派手すぎるという。でも
「よう似合うで」とほめたら、気に入って
くれた。

為広 うちで売ったときの娘さんは、十九
か二十才かな。

増田 何台か走ってくれば、あとはラク
だ。

橋爪 まあ、各業者が、女子のお客さんを
指導したというか、親切に運転などを教えて
やったのがよかつたんだと思うね。

衣笠 だいたいね、原付一種の免許証はど
つたが、いっぺんも乗ったことがない人がた
くさんいる。こういう女性が車を買ったとき
は、店の若い衆が、乗り方の指導に行ってい
ます。

為広 三十才までの人なら、一時間で乗れ
るようになるな。

橋爪 いままででは、この先の飛行場あとが

使えたので、便利だったけど。
為広 女性のお客さんには、よく乗り方を
教えに行くんだが、おかげで、教え方の要領
がよくなった。

はじめは、うしろに乗せて走ってやる。少
しなれたら、今度は自分で運転させるが、ロ
ーでもセカンドでもいいから、とにかく何メ
ートルか走らせてみることです。

衣笠 女性も近ごろは、機械についての知
識をかなり持ってきた。ポイントがゆるくな
ったから見えてくれ、なんていつてくる。

為広 ガソリンについても、これから入り
これはこうやと、機械の内部の事情を教えて
やると、よくおほえる。でも、年よりはいか
んや。年よりは三年以上乗っていても、なか
なかわからん。

橋爪 四十才以上はダメや。

為広 オートバイとは、こないして乗るの
と教えるだけではダメだ。構造を説明すると、
乗り方もよくおほえる。男というものは、自
分の嫁さんにもものを教えるのは、なにかに
手らしいからな。

山本 この辺の販売店は、お客さんが女の
子だったら、みなサービスに教えに行くだろ
うな。



橋爪さん

橋爪 車のうしろに乗って、ブレーキ
踏むときは右ももをたたく。アクセルは、ひ
じを押し突いたり突いたりの合図で、だいたい、
運転できる。教えるほうも役得ですわなア。

山本 まあ、おかげで加西ヤマハ会も順調
に伸び、先日は、会の積立金が十五万円ほど
になったので、なにに使おうかと、みなで相
談した結果、カーブミラーと防犯灯を市に寄
付させていただきました。まがりくねった山
道が多いので、少しでも交通安全にお役に立
てばと、カーブミラーを選んだものです。わ
れわれは、宣伝ひとつするにもグループ全部
でやっています。



為広さん

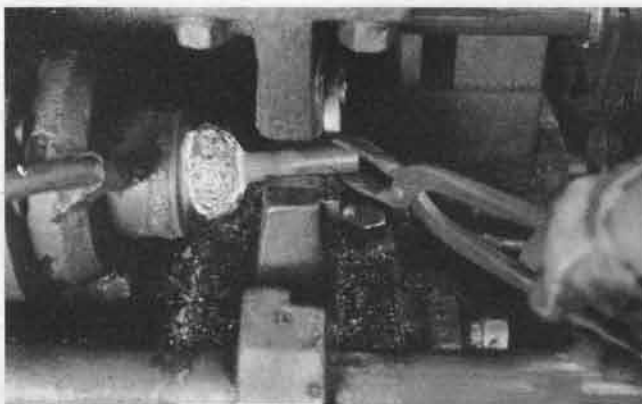
山本 女性も、免許がとれる年齢になつた
ら、メイトに乗るね。
為広 メイトのお客さんの六割から七割が
女のお客さんだ。
有田 おととい売ったのは、六十近いおば
はんや。
山本 嫁入りするにもメイトを持っていく
という形になっている。自転車よりもオート
バイを持っていく時代になっている。
有田 モベットが足ですよ。
為広 女性が、育英会や学校へちよつと行
くといつても、ポンポンですね。
橋爪 女子の人が、これだけ乗ったとい

地区は、あまりないんじゃないか。みなが、
よくヤマハを宣伝した力というのか。

為広 男の人は自動車に乗るやろ。だから

クランクシャフト のできるまで……

ピストンの上下運動を回転運動にするのがクランクシャフト。エンジンのシャフトは、エンジンの回転をそのまま受けるわけだから、エンジンの中でもっとも高回転をする部分の一つ。それだけに、その耐ス力は最高の強さを要求される。だからフライホイールとシャフトは継ぎ合せるのではなく、一本の棒から成型される。工程を追って、一本の棒が、どのようにしてシャフトになるかを見てみよう。



4 ウェブが所定の大きさにまでプレスされたら、とり出します。



5 次の工程のマイプレスに移るまで、素材がさめないように、ベルトコンベアで速やかに送ります



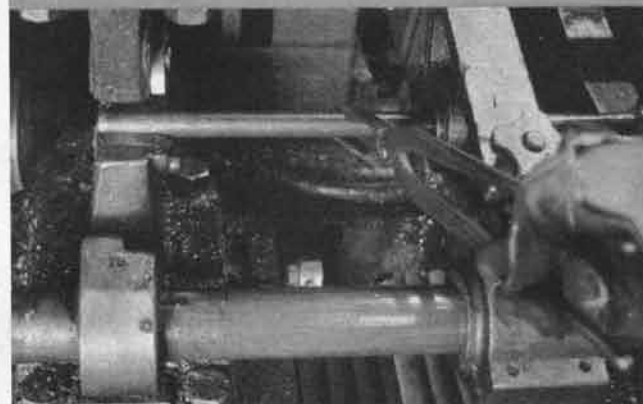
6 マイプレスはドイツ製のプレス盤で、実に600tというすごい力です。普通自動車のボディなどをつくるプレスが300tですからそのすごさがわかります。



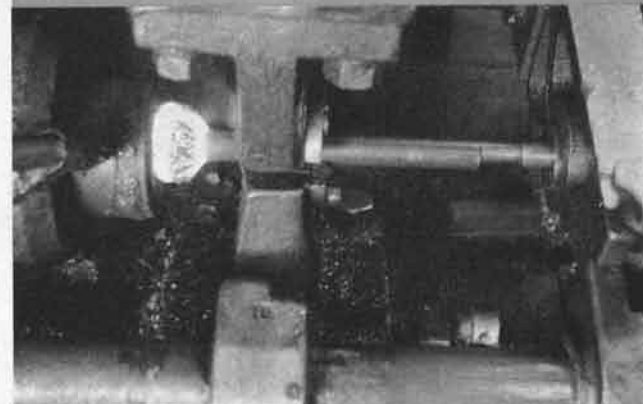
7 マイプレス完了品です。このプレスは10年前からヤマハで4台使っていますが、他社で使いはじめたのは最近です。



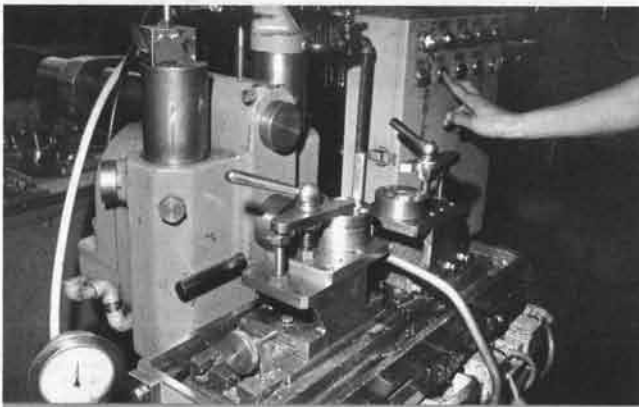
1 クランクシャフトの素材。ごらんのように丸い鋼棒です。



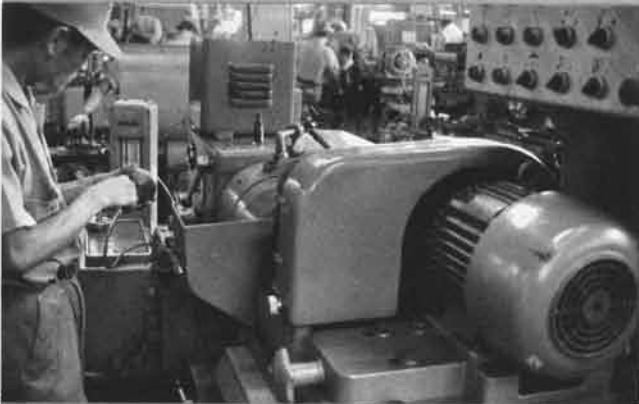
2 アップセッターと称する機械でこの丸棒を高周波電流により熱し(900~1000℃)プレスしながらウェブを成型します。



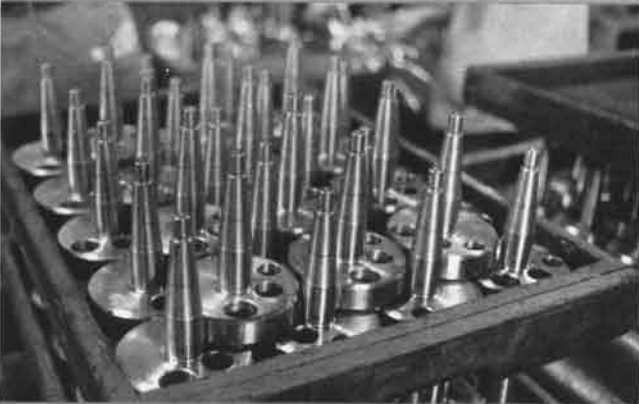
3 プレスしながらウェブがオダンゴのような状態です。



12 次にクランク軸部のキー溝加工を専用機でおこないます。このあとフラマガまたはダイナモ取付ネジを加工し熱処理工場で調質され、クランク軸の焼入れの後、千分の1の精度で研磨されます。



13 加工の最終工程。クランクピン孔研磨がおこなわれます。



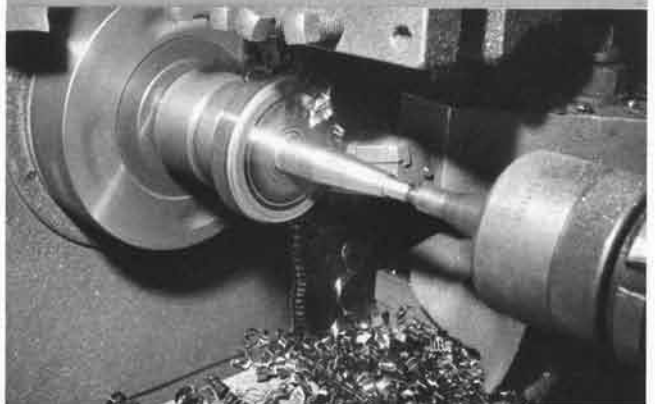
14 完成したクランクは次に検査へまわされます。



15 どんな小さなキズ、ヒズミも見逃さないきびしい目で検査され、クランクのアセンブリとして完成します。



8 機械加工の第一工程は、ウエブの端面旋削と両端のセンター孔加工を専用機で加工します。



9 微い旋盤で、自動的に外径寸法を旋削します。



10 次の工程のクランクピン穴あけに移すためローラーコンベアで速やかに移動させます。



11 専用機で、クランクピン孔、バランス孔の荒加工穴あけをします。(一度に5～6個のクランクを加工します)

スノーモビル、軽免許で乗れる

画期的な雪上の乗り物として全国的な話題となったスノーモビルは、免許問題が焦点となっていました。需要層からの要求が当局を動かす、このほど軽自動車とみなすということに決定しました。

〔二輪車新聞〕ヤマハ発動機はこの十月から同社があらたに開発した、スキー及びキャタピラを有する雪上車、スノーモビルを全国的に発売するが、これに先だつて警察庁はさきごろ、同車の免許上の取扱を決め、指導、免許両課長名で各都道府県警察及び関係方面に通達をした。

それによるとスノーモビルは、車体の大きさなどから考え軽自動車に属するのが合理的だとし、したがって免許は軽免許で乗れるとしている。

しかし、軽免許は去る九月一日の道路交通法の一部改正によつて普通免許に統合されたところから同日以後の免許取得者は普通免許でなければ乗れないとしている。

これまでスノーモビルは本質的にその構造上などから特殊車であると考えられ、その取扱いは苦慮、道交法施行規則第二条の表の大型特殊車の項にある「総理大臣が指定する自動車で、小型特殊自動車以外のもの」とする規定を適用、総理大臣の指定車輛として大型特殊車から除く一方、軽自動車扱いとした。

モペット定義が焦点

B P I C M 秋季総会

国内でもモペットの免許関係はいろいろいわれているが、これは各国でも同じこと、そこで国際的に統一しようという気運が生れてきたのだが。

〔二輪車新聞〕九月二十七日、スイスのジュネーブで開かれるB P I C M (国際二輪車工業会議所) 秋季総会に、各国代表より提出される道路交通及び車輛製造技術に関する諸問題の中、モペットの定義が論議の焦点になるものとみられている。

現在モペットについては、各国の事情により、許可制、無免許、最高速度、排気量など諸規則がまちまちであり、これを国際的に統一するため各国の意見をまとめていたものであるが、この秋季総会にB P I C M としての骨子を定めることになっている。

免許取得者二千五百万人を突破

二千万人、五人に一人といつておどろいたのはついこの間と思つたのに、いつのまにか三・八人に一人の割合、二千五百四十五万六千七百三十三人(昭和四十三年七月一日現在)となつてしまった。これでまたまた潜在需要が増え、お客様になれる人が増えるのですからみなさんよりはりきつてください。

〔二輪車新聞〕受験者数は年間八百万人を越え、横ばいの状態であるが、軽免許の廃止などから普通免許を受験する者がふえ、依然として普通免許の受験ブームを保っている。

こうした現象から普通免許を所持しているものは一千万人を突破し一千百七十七万五千人に達しトップを占めている。つづいて二輪免許の四百七十七万六千人、原付免許の三百七十

八万四千人、軽免許の百七十二万人、大型免許の百三十四万二千人の順となっている。

都道府県別の免許取得者数をみると、筆頭は東京の二百五十万七千人、つづいて大阪の百五十八万七千人、愛知の百四十七万四千人、北海道の百三十万九千人、福岡の百八万六千人、神奈川の百七万二千人とだいたい自動車保有台数に比例している。

またもつとも免許所有者の少ない県は鳥取の十四万八千人、島根の十八万五千人、山梨の十八万五千人と人口に比例している。

訓練中につきご注意

仮免運転中、ご注意ください。お先にどうぞという貼紙は日本だけかと思つたら。

〔モーターサイクル〕英国のクリスタルパレス・モーターサイクルトレーニングセンターでは写真の様なセーフティジャケットを講師に着用させている。ライター訓練中につき「ご注意」というわけだが、講師が初心者を指導して一般公道を走破する際に使われるものである。



雪上車を本

ヤマハ月誌

ただいま 31頭・2匹・50羽

猟犬

猫

軍鶏

兵庫県西脇市・藤原自転車店
藤原重男さん



犬の世話は全部、自分でやる。「だから、どこへ行くにも日帰りなんです」



この鶏小屋は藤原さんが徹夜でつくったもの。「できれば1羽ずつ入れたいんですが…」

は、ライトバンに十二、三頭の犬をのせて出掛けるんです。ときには人に貸してあげることともありますが、犬には親方の気持がわかるんでしょね。他の人だと働かないんだそうです。

藤原さんのうわさを聞いてか、店の前には、ときおり捨て犬があります。こんなとき藤原さんは、見すごすことができません。

猟犬にできそうなのは自分で飼育し、番犬向きは、店に立寄るお客さんなどにたのみこ

んで、里親になってもらいます。

シャモは、子供のころ、蹴合いをさせて楽しんだのがやみつきでした。いまではもっぱら観賞用です。いろいろと交配させては、新種を生み出すのを楽しみにしています。

お店の仕事も奥さまの協力を得て発展の一途をたどっています。二輪車販売店のほかに四輪の整備工場もあり、多忙ですが、仕事と趣味の間に交通安全協会の仕事も熱心につとめるほどの張切りようです。

綿織物の工業都市として、また灘の銘酒の原料米の集散地としても知られている兵庫県西脇市に、動物好きで有名な藤原重男さん(48才)が住んでいます。藤原自転車店の経営者です。

猟犬三十一頭、シャモ五十羽、それに可愛

い猫が二匹。それが、現在藤原さんが世話をしている動物の総数です。藤原さんの動物好きは、子供のころからのものです。農家に生まれた藤原さんは、小学校一年生のとき、すでに一人前に牛の世話が出来ました。藤原さん

んが手塩にかけて育てた牛が、品評会で兵庫県第二等に入ったこともありま

す。藤原さんは狩猟が大好きです。このことはアメリカ製のウインチェスター、ベルギー製のプロニングなど、五丁の猟銃を持っていることでもわかります。

したがって、三十一頭の犬は、すべて猟犬です。子供のときから十六万円もしたハウンドをはじめ、ポインター、紀州、柴と、種類もいろいろです。

「シシやウサギ、トリなどを射ちに行くとき



新発売 12馬力 ヤマハ船外機 P-200

技術のヤマハが完成した高性能船外機—P-200

エンジン技術では世界に定評のあるヤマハが、新しく開発した船外機がP-200。高性能12馬力エンジンは、2キャブレター、2シリンダー方式。ヤマハ独自の第3掃気ポートの採用で、掃気効率もグリーンと向上、エンジンのねばり強さは抜群です。さらに、冷却水の温度は、サーモスタットで自動的に調節でき、アイドリングの時間を短縮して、エンジンの耐久性を一

段と高めました。そのほか、サビやエンジン音をシャットアウトしたエンジンカバー。運転のしやすいツイストグリップ、前面操作方式の採用。ボディに伝わる振動をなくし、乗りごちを一層良くした、特性ラバー懸架。障害物にぶつかると自動的にかたむき、ボディの破損を少なくするハンドルなど、ヤマハ独自のアイデアがいっぱいです。

ヤマハ船外機P-200仕様

総排気量-197cc	チェンジャー-前進・中立・後進
最高出力-12ps	トランサム高-S 432mm(17インチ)
速度-9~32km/h	L 584mm(23インチ)
重量-35kg	SUL 711mm(28インチ)
排気方式-水中排気	使用燃料-混合ガソリン
冷却方式-水冷	混合比-40:1(ヤマハ指定オイル)
点火プラグ-B-7H(NGK)	ギヤオイル-ハイポイドギヤオイル
クラッチ型式-ドッククラッチ	燃料タンク容量-17ℓ

オプションパーツ

リモートコントロール・点灯ランプ式・重荷重用プロペラ

ヤマハとご指名ください

“求めやすく、売りがやすく。”—あらゆるお客さまを満足させるヤマハ車がさらに豊富な車種揃えでみなさまのお手もとへお届けできるようになりました。

ヤマハスポーツ50F5-S



5馬力オートトループ・4段ロータリー変速・83km/h・ロングシフト・アップマフラー
現金正価 6万2千円
(赤塗色は1千円高)

ヤマハトレール50F5-C



5馬力オートトループ・4段ロータリー変速・80km/h・ロングシフト・アップマフラー
現金正価 6万3千円

ヤマハメイト50USD-U5E



自動クラッチで運転のむずかしさがない安全なモベット。U5Dはキック。U5Eはセル付
現金正価 U5D 5万7千円
現金正価 U5E 6万4千円

ヤマハスポーツ125AS1 デラックス



5ポット・15馬力オートトループ・2キャブ・5段変速130km/h・線引き燃料タンク
現金正価 13万7千円

ヤマハトレール90H3-C



8馬力オートトループ・4段ロータリー変速・95km/h・ダブルシフト・アップマフラー・線引きタンク(別にキャブタイプ・色タンク)
現金正価 7万7千円

ヤマハメイト70U7-U7E



背広のままで、スカートのままで気がるに乘れる経済車。2人乗りもOK。U7Eはセル付
現金正価 U7 6万3千円
現金正価 U7E 7万円

ヤマハスポーツ125AS1 カスタム



5ポット・13馬力オートトループ・2キャブ・5段ロータリー変速・120km/h・車重99kg
現金正価 13万5千円

ヤマハトレール100L2-C



8.5馬力オートトループ・4段ロータリー変速・95km/h・アップマフラー・エンジンガード付
現金正価 8万2千円

ヤマハ50F5-F5-E



4.5馬力オートトループ・4段ロータリー変速・80km/h・フレームは独特の7(セブン)スタイル
現金正価 F5 6万円
現金正価 F5E 6万9千円

ヤマハスポーツ180CSI-E



21馬力オートトループ・2キャブ・5段変速・140km/h・前輪ブレーキダブルカム・セル付・Gマーク
現金正価 16万9千円

ヤマハトレール125AS1-C



13.8馬力オートトループ・2キャブ・4段変速・125km/h・アップマフラー・エンジンガード付
現金正価 13万9千8百円

ヤマハ60J5



5.3馬力オートトループ・4段ロータリー変速・83km/h・2人乗りで大きく働く経済車
現金正価 6万4千円

ヤマハスポーツ250DS5-E



29.5馬力オートトループ・2キャブ・5段変速・160km/h・前輪ブレーキダブルカム・セル付
現金正価 19万3千円

ヤマハトレール250DT1



18.5馬力オートトループ・5段ロータリー変速・120km/h・35度前輪フォークはレーサー仕様の本格派
現金正価 19万3千円

ヤマハ80G5



6.7馬力オートトループ・4段ロータリー変速・90km/h・フレームはヤマハ独特の7(セブン)スタイル
現金正価 7万1千円

ヤマハスポーツ305M2



31馬力オートトループ・2キャブ・5段変速・165km/h・前輪ブレーキダブルカム
現金正価 19万5千円

ヤマハオートトループツイン90
[AT90]・[AT90-D]



8.2馬力オートトループ・4段ロータリー変速・100km/h・Gマーク受賞・AT90-Dはセル付
現金正価 AT90 8万3千円
現金正価 AT90-D 8万8千円
(ダブルシート、赤塗装は各1千円高)

ヤマハ90H3・H3E



8馬力オートトループ・4段ロータリー変速・100km/h・Gマーク受賞・H3Eはセル付
現金正価 H3 7万5千円
現金正価 H3E 8万円

ヤマハスポーツ350R1



36馬力オートトループ・2キャブ・5段変速・173km/h・前輪ブレーキダブルカム・Gマークの受賞
現金正価 22万8千円

ヤマハ125A7



11馬力オートトループ・4段ロータリー変速・110km/h・セル付
現金正価 A7 13万5千円



ヤマハ発動機株式会社

ヤマハニュース NO.65

●昭和43年11月1日発行

●発行所 ヤマハ発動機株式会社 静岡県浜北市中条

●発行人 小池久雄